

新江ノ島水族館

江の島の海岸動物図鑑で身近な海岸と生き物について知ろう

実施期間：2024年5月15日（水）～2025年6月30日（月）



磯観察イベントの磯活動



磯観察イベントの同定作業



トークショーのようす



トークショーの特別展示

【事業の内容・目的】

- 江の島の潮間帯で見られる無脊椎動物を紹介する図鑑を制作した。潮間帯での観察の方法や江の島の海岸観察地点の紹介をし、手に取って海に行きたくなるようなハンドブックとした。
- 広く市民に海の学びを深めてもらうために、神奈川県立学校および図書館、藤沢市立学校および図書館、公民館、江の島港湾および漁業関係者、近隣自然系博物館などに図鑑を寄贈した。
- 来館者に図鑑の内容や海の魅力について伝えられるスタッフ育成のため、社内勉強会を行った。
- 図鑑のもととなった調査についてお話をするトークショーをおこなった。
- 江の島の磯で図鑑を活用して生物観察をする磯観察会をおこなった。

活動の様子

1. 実施活動名①「江の島むせきつい海岸どうぶつ図鑑」制作と配布および図鑑を活用した社内勉強会(全3回)

【開催日時】

図鑑制作と配布：2024年5月15日(水)～2025年5月31日(土)

社内勉強会：《1回目》2025年1月21日(火) 14:00～15:30、

《2回目》2月19日(水) 14:30～15:00、《3回目》2月19

日(水) 18:00～19:30

【開催場所】

図鑑制作と配布：新江ノ島水族館、新江ノ島水族館公式ホームページ

社内勉強会：なぎさの体験学習館、新江ノ島水族館

【参加者数】2,919人

冊子配布：1,200人、Web配布：1,656人

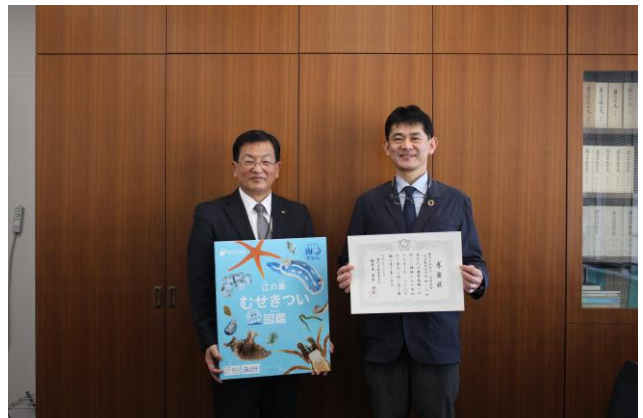
社内勉強会(全3回) 1回目：30人、2回目：14人、3回目：19人、
合計：63人

【活動内容・目的】

- 江の島の潮間帯で見られる無脊椎動物を紹介する図鑑を制作した。潮間帯での観察の方法や江の島の海岸観察地点の紹介をし、手に取って海に行きたくなるようなハンドブックとした。
- 水族館で働くスタッフが所属部署に関わらず江の島の海についての知識を身につけ、来場者等にご案内ができるようすることを目的に、江の島の潮間帯動物相調査や無脊椎動物について勉強会を実施した。
- 実際に江の島で観察できる無脊椎動物の同定作業を、図鑑を活用しておこなうワークショップを実施した。



神奈川県教育委員会へ図鑑を寄贈



藤沢市教育委員会へ図鑑を寄贈

多くの地域の方々に、江の島の海岸に生息する生物の興味深さや環境の変化など知っていただくために、江の島の潮間帯で見られる無脊椎動物を紹介する図鑑を制作し、学校や図書館、海洋関係施設、水族館従業員などに配布し、閲覧して学びを深めてもらうように促した。子どもから大人までが読みやすく手に取ってもらえるよう意識して制作した。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はいけません。



潮間帯について解説



制作した図鑑を手にする参加者ら

海の目の前で勤務する水族館スタッフでも、担当部署によっては海との関わりが薄く、地先の海岸生物についての知識や情報伝達が不足していると感じていた。そこで、制作した図鑑を活用して社内勉強会を3回実施し、63名に上記の学びを深めてもらった。勉強会の前半は、江の島の海岸環境の特徴や潮間帯について、図鑑を使いながら解説した。また、新江ノ島水族館が旧館時代の1987年からおこなっている調査の内容についてと現在に至るまでに起きた海の変化についても解説した。調査研究を継続実施しているからこそ、わかったことが多くあり、実施している意義についても紹介した。



種同定グループワークのようす



種同定グループワークのようす

後半は、江の島の潮間帯で採集してきた生物を1グループに3個体ずつ同定してもらうグループワークを実施した。小さな透明カップとピンセットを用意し、さまざまな角度で観察をおこない、解説者がテーブルを回ってヒント出しや答え合わせをした。分類によって見分け方のポイントがあることや個体差や地域差がある生物がいることなども解説した。身近な海の見落とされがちな無脊椎動物をじっくり観察することで、新たな発見や気づきがあった参加者も多く見受けられた。

【参加者の声】

- 同じ種でも、個体によって個性があること。すみかによって環境が観測出来ることが学びになりました。
- 海というイメージだとなかなか無脊椎動物を想像しにくかったけれど、潮間帯のような一見生き物がいないかと思うようなところにも多様な生物がいることを感じる事ができました。また、5年毎に同じ地点、時期で調査をすることで、海環境と生き物の関連性を考えられるということが面白かったです。
- 江の島という身近な海に、無せきつい動物だけに絞ってもこんなにたくさんの種類のいきものがいることがよくわかりました。見分けられるようになると、より生き物たちに興味がわいたり、親しみを強く感じそうです！

2. 実施活動名②「江の島の磯で探そう！図鑑の生き物たち（全3回）」

【開催日時】1回目：2025年3月30日（日）9：30～12：30

2回目：4月27日（日）9：00～12：00

3回目：5月31日（土）12：00～15：00

【開催場所】江の島ヨットハウス、江の島

【参加者数】1回目：27人、2回目：30人、3回目：28人、合計85人

【活動内容・目的】

- 江の島の磯での生物観察の方法をレクチャーし、生き物を海で観察することで親しみや学びを深めてもらう。
- 動きがあまり見られない付着生物についても存在に気づくことで、生物量の多さや様々な生態、形態の生物がいることを知ってもらう。
- 図鑑を使って種同定をしてもらうことで、似たような生物でも他種が混在していることや同じ種でも個体差があることを学び、多様性の豊かさを伝える。



磯観察の方法や注意事項などを説明



江の島の南磯での観察

制作した図鑑を活用した磯観察イベントをおこなった。全3回のイベントのうち、1回目と2回目は親子を対象とし、小学生とその親が参加した。教室で磯観察に適した日時や海況、安全に磯で活動するための注意事項に加え、磯で観察できる付着生物をいくつか解説したのちに、江の島の南磯へ案内した。磯では生き物の探しかたのコツなど声を掛けながら観察をしてもらい、それぞれ詳しく調べたい生物を5個体プラケースに収容し教室へ持ち帰った。持ち帰った生物は教室にて図鑑を使って種類を調べた。スタッフはヒントや調べ方を参加者のようすを見ながら声掛けし、参加者自らで調べて同定することで、学びが深まるように意識した。それぞれの答え合わせののち、総括でどのような生物が見られたか、その種の特徴の解説を交えてお話をした。

学びのテーマである「無脊椎動物」と「潮間帯」について難しく捉われてしまわないかを懸念していたが、子どもの7割は6～8歳と低学年が多かったにもかかわらず、図鑑、解説ともに参加者アンケートでは「わかりやすかった」との意見がほとんどであったことより、体験のみならず、お話の内容も学んでいただくことができたと思われる。



磯観察のようす



持ち帰った種を図鑑で調べるようす



観察した種の特徴について解説



図鑑で種類を調べるワークショップのようす

3 回目は大人を対象とした磯観察イベントとした。当日は悪天候であったため、野外観察を中止し、室内にて江の島調査のお話をしたのちに、江の島の南磯で採集してきた生物 7 個体（カニ、ヤドカリ、巻貝）をひとりずつに配布し、図鑑を使って調べるワークショップをおこなった。観察したことを書きこむ用紙を配布し、確認できたことをメモしてもらった。特徴をとらえたスケッチを描きながら種名を書き込む参加者もいた。江の島の海のようにその変化についてと、どのような生物がいるのかを学び、海への興味を深めてもらった。

【参加者の声】

- 同じヒライソガニでも様々なもようがあり、お友達がとってきたものとの違いも見られて、本当に沢山の種類の生き物があるんだなと実感できました。海大切ですね。
- 普段、家族だけで遊んでいると「なんだろうねー」とそこでおわってしまうことが多いのですが、小さな生き物についても興味を持って調べるととてもおもしろいことに改めて気づくことができました。
- （カニとかヤドカリとか貝とか）大きなくくりでしか海の生き物をとらえていなかったが、多種多様な違いをじっくり見て理解できたので、海の環境の幅の広さを感じました。小さな島でこれだけたくさんの生物がいるのなら、海全体をみたら…！！と震えました。（もっと知りたい）

3. 実施活動名③「江の島むせきつい海岸どうぶつ図鑑」スペシャルトークショー

【実施日時】2025年2月7日（金）17：45～20：00

【実施場所】新江ノ島水族館

【参加人数】48人

【活動内容・目的】

- 身近な海の変化や生き物の魅力を伝えることを目的に、江の島の潮間帯動物相調査からわかったことなどを5名のスピーカーよりお話しした。
- 調査の道具や資料などを特別展示した。



開催場所全景



トークショーのようす



特別展示のようす



トークショーのようす

これまで35年以上にわたっておこなわれてきた江の島の海岸動物調査に携わってきた新旧スタッフによるトークショーを開催した。江の島にどのような海洋生物が生息しているか生物の魅力の伝えるとともに、長年調査を続けてきたからこそ見えてきた外来種や環境の変化についても紹介した。来場者からは、身近な海と生物だけど今まで気づかなかった生物にも目を向けたい、海に行って実際に観察したいという声が多く聞かれた。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はいけません。



トークショーのようす



質疑応答のようす

質疑応答では、イベント時間ではすべて答えきれない数の手が上がり、参加者が関心を持って参加してくれたことが伺えた。

会場には、イベント前後や休憩時間に閲覧できるように調査道具や調査記録写真、過去の調査結果の論文や参考文献、江の島で拾得した貝殻標本などを展示した。イベント終了後には、登壇者が展示物の解説や個別の質問対応にて、より、学びを深めてもらえるようにした。

【参加者の声】

- 海の生き物（外来生物）、江の島の様子、知らないことだらけで新鮮でした。
- 自分も海が好きで改めて海を知ったり海を調べたりしたいと思いました。また、海の面白さをまわりや次世代にも伝え、海に親しみを持ってくれる人が増えたらいいなあと考えています。今年も海に行きたいと思います。今日はありがとうございました。
- 江ノ島の海には様々な生き物が住んでいて、時代の変化によって種類も環境も変わってきているという事を知れました。海が無脊椎動物を初めとした生物にとってとても重要な場であるため、海に関心を向けて、より深く知りたいと思いました。また、知識的な面を深めるのはもちろんですが、実際に海に行って本物を体感したいと思いました。

【事業全体のまとめ】

今回「海の学び ミュージアムサポート」を活用させていただいたことで、当館では初となる図鑑を制作し、広く内外に江の島の潮間帯の無脊椎動物についてと長年の調査について知っていただく機会を得られた。図鑑を活用したイベントでの参加者アンケートでは、子どもから大人まで、わかりやすく伝わっていることや、江の島の海岸と生息する生物の魅力や多様性について十分に伝わったことが伺えたことより、クオリティの高い内容でおこなうことができた。地域の海を継続して調査研究し、それを伝えることの意義も同時に伝わったように思われる。

また、水族館従業員をはじめ海や生物に親しんでいる関係者や磯遊びに何度も訪れているという方でも、江の島の海岸動物の多様性に今回の事業を通して初めて気付いたという声が多かった。本事業参加者は元より海洋や生物に興味があり、環境意識の高い方が多いと推察されるが、具体的な環境や生物のことについて学ぶ機会が不足していたと思われる。本事業がそのような方々に対しても学びを提供できる良い機会となった。

主な連携・協力先について

連携・協力先名称	連携・協力の内容
1. 相模川ふれあい科学館 アクアリウムさがみはら	図鑑制作協力、トークショーへの講師派遣
2. 横須賀市自然・人文博物館	図鑑制作協力
3. 神奈川県教育委員会	教育機関への図鑑配布協力、磯観察イベントの後援
4. 藤沢市教育委員会	教育機関への図鑑配布協力
5. なぎさの体験学習館	図鑑制作協力、磯観察イベントへの協力

※主に教育機関や地域団体、他館などを中心に記載。表が不足する場合等は適宜増減すること

主な広報結果について

掲載媒体名	見出し、掲載日（2025 年）	
1. WEB ふじさわびと	レポート 【新江ノ島水族館 20 周年記念事業】 2 月 10 日（月）「江の島むせきつい 海岸どうぶつ図鑑」を刊行	1 月 17 日
2. 水族館ワールド - Blue of the Earth	最新フォトニュース_新江ノ島水族館_2 月 10 日(月)「江の島むせきつい海岸ど うぶつ図鑑」を刊行	1 月 17 日
3. 神奈川新聞	無脊椎動物楽しく学ぶ来月 10 日えのす いが図鑑発売	1 月 18 日
4. 湘南人	【藤沢市】新江ノ島水族館「えのすいク ラゲの日」開催！相模湾でクラゲ採集& 観察体験ができる特別イベント 2 月 11 日／「えのすい海のずかん」出版記念ト ークショー開催！著名研究者が集結 2 月 7 日	1 月 21 日

5.神奈川県ホームページ	新江ノ島水族館から図書が寄贈されます！	1月31日
6.レディオ湘南ニューススクエア	ENOSUI NAVI	2月6日
7.LOCO.831	ENOSUI NAVI	2月7日
8.湘南える	「江の島むせきつい海岸どうぶつ図鑑」を刊行	2月8日
9.水族館ワールド - Blue of the Earth	最新フォトニュース 新江ノ島水族館 3 月館内イベントのご案内	2月8日
10.湘南人	【藤沢市】 新江ノ島水族館が親子限定「江の島の磯で探そう！図鑑の生き物たち」開催！	2月27日
11.水族館ワールド - Blue of the Earth	最新フォトニュース 新江ノ島水族館 春の館内イベントのご案内「えのすい生まれの生き物展」	3月13日
12.レディオ湘南ニューススクエア	ENOSUI NAVI	5月8日
13.Weekend+One	ENOSUI NAVI	5月10日
14.水族館ワールド - Blue of the Earth	最新フォトニュース 新江ノ島水族館_今年2月刊行「江の島むせきつい海岸どうぶつ図鑑」5月13日（火）より無料ダウンロードを開始します！	5月13日
15.鎌倉シーサイドステーション	新江ノ島水族館情報	5月14日
16.読売新聞	えのすい 図鑑ネット公開_無脊椎動物、エリア紹介	5月17日
17.レディオ湘南ニューススクエア	ENOSUI NAVI	5月22日
18.Weekend+One	ENOSUI NAVI	5月24日
19.WEB ふじさわびと	レポート えのすい初の図鑑「江の島むせきつい海岸どうぶつ図鑑」無料ダウンロード開始！	5月27日

※TV・新聞・雑誌等、主なものを中心に記載。表が不足する場合等は適宜増減すること

以上